

平成30年3月9日（金）

電波有効利用成長戦略懇談会

IoTの進展と技術基準 適合証明の表示について

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

(株)村田製作所
IoTプロジェクト推進室



(株)村田製作所の概要



村田製作所は、最先端の技術、部品を創出する総合電子部品メーカーです。Innovator in Electronicsをスローガンに掲げ、豊かな社会の実現をめざします。

ムラタのプロフィール

売上高： 1兆1千355億2千4百万円
従業員数： 59,985名（国内24,966名、海外35,019名）
企業数： 97社（国内31社、海外66社）
創業： 1944年
特徴： 先端材料開発から量産まで一貫した生産体制と
広範囲なラインナップ

ムラタの製品群



コンデンサ



センサ



RFモジュール



電源



ワイヤレス
プラットフォーム

IoTの進展とデバイスの開発動向

電子デバイス



IoT、エレクトロニクス化の進展により、さまざまなものに無線機能が搭載され、その用途に応じて、無線の機能の実装方法、サイズ、流通、管理などの形態が多様化していくことが想定される。



オートモーティブ、
交通インフラ



市場の展開

耐環境性・埋設化
機材との一体化



ヘルスケア、
見守り



開発の方向性

小型化・薄型化
フレキシブル



HEMS、環境、
エナジーセービング



薄型化・埋め込み
構造物との一体化

プロダクト

証明制御システム



トラフィックカウンターシステム



設備の見える化・監視システム

Confidential

サービス事例

① ガラス美術館



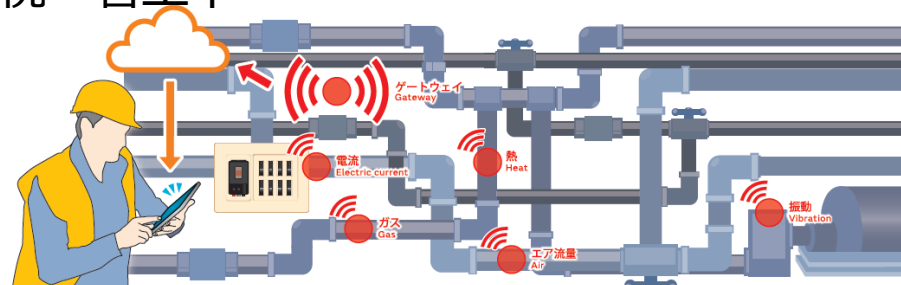
② 病院 (サーカディアンリズム)



③ 交通量モニタリング



④ 設備監視・省エネ



要望事項：

- ① 本体表示3mm要件の緩和
(記載サイズの見直し、モジュール等への記載不要など)
- ② ソリューションサービスについて、
取扱説明書への表示可能化
(特に埋め込むものに対する印字の義務の緩和)



背景：

- ・ IoTデバイスの小型化、高集積化によりモジュールなどに3mm×3mmの表記が困難な状況にある。
- ・ デバイスがウェアラブルやインプラントブルという形で身につけるものや医療機器などさまざまな機器に入っていく中で印字、確認が困難な状況が発生
- ・ インフラや構造物も同様センサ、通信デバイスが埋設されるようになると印字、確認が困難。



ご静聴ありがとうございます。